

2026年度
総合能力入試 [リーダー育成型]
(教育学部・学校教育課程、生涯学習学科 生涯学習専攻、外国語学部、
社会環境学部、保育学部、造形学部、健康プロデュース学部・健康栄養学科)
小論文 (100点 90分)

これからの時代の地域における大学の在り方について―地方の活性化と地域の中核となる大学の実現― (令和3年12月中央教育審議会大学分科会審議まとめ) では、地域における大学の役割として次の4つの項目が挙げられている。

- ① 人材育成機関としての役割 (必要不可欠な分野の従事者、地域産業のDXやグローバル化を推進する人材、地域社会を活性化する人材)
- ② 高度な研究能力を有する機関としての役割 (産業界等との連携、地域の発展や課題解決に資する取組の実行)
- ③ 地域の文化・歴史を発展・継承する役割 (地域の魅力の発信)
- ④ 知と人材のハブとしての役割 (海外等の他地域との窓口)

【出典】文部科学省「これからの時代の地域における大学の在り方について―地方の活性化と地域の中核となる大学の実現―」より作成

DXとは、デジタルトランスフォーメーションのことである。IT化とも混同されることが多いが、IT化は既存の手順や手続きをコンピュータに置き換えることにより効率化することが目指されるのに対し、DXはビジネスモデルや組織全体の変化によって新たな価値を創造することが目指されるものとされる。

ハブは、様々な分野で利用される言葉であるが、人や情報などが集まる中心となる場所や役割のことである。つまり、地域における大学とは、その地域において“知”と“人材”が集まる場所としての役割が挙げられている。

問1. 地域における大学は「人材育成機関」として大きな役割を担っていると考えられる。掲げられた項目の中に記載されている「必要不可欠な分野の従事者」とは、どのような方々のことであり、そのために必要とされる大学での学びとはどのようにあるべきだと思われるのか、あなたの考えを400～500字で述べなさい。

問2. 地域における大学には「地域の文化・歴史の継承」や「知と人材のハブ」としての役割が期待されている。「地域の文化・歴史の継承」または「知と人材のハブ」のどちらか1つについて、大学ではどのような取り組みを進めてゆくべきと考えられるのか、あなたの考えを400～500字で述べなさい。